

教育目標

ひのこ
らこう世界へ
びようともに
くろう夢を
えよう自分を

紙面から

年頭所感・全国学力学習状況調査 1
 スクールガイドボランティア講習会・「調査・研究の発表会」にご参加を ... 2
 日野市民体育大会優勝チーム決る!!・日野市の文化財紹介 ... 3
 ひのこががんばっています・「日野食育かるた」作品コンテスト入賞作品紹介 ... 4

年頭所感

日野市ICT教育の未来に期待

日野市教育委員 千葉義夫



最近、教育関係の方にお目にかかる機会が増えてきて、ICT教育の普及度です。市内小中学校におけるICT関連機器などのハード設置状況だけでなく、早い時期から「ICT活用教育推進室」を設けて、学校現場での現実利用を支えつつ実践してきたことが高い評価を受けています。

こうした部分は、数量的に把握することはしにくいのですが、ICT教育の利用実態という観点から、日野市は全国十指に入るレベルであるとされ、人によっては、優に五指に数えられるほどであるとお誉めいただくこと

もありません。さまざまな場面において、公教育の重要性が説かれるなか、日野市小中学校におけるICT教育の実践が地についた教育活動として普及しつつあることを、市民の一人として非常に嬉しく感じております。2009年秋にも、日野市立第四小学校において、全国レベルの理科教育の実践発表会が開催されました。全国から多くの参観者が訪れ、参加した皆さんが感心しておられたのは、どの教室においても先生方がツールとしてICTを使いこなしておられるだけでなく、児童がICTになじんでいて、学習に活用することに慣れている姿でした。

この状況において、教育が考えなければならぬのは、いわゆる「デジタル・デバイド」の現象をきたしてはならないということ。つまり、パソコンやインターネットなどの情報技術（IT）を使いこなせるかどうかで格差を生じないようにすることが、次代の公教育に望まれます。

こうしたICT教育の重要性を訴えると、かならず「やはり教育は人が行うもの。コンピュータが教育するのは誤りだ」という意見がでできます。しかし、ICT教育とは、いかなる面においても教育をコンピュータに委ねるものではなく、人と人が接するなかで、より多角的に、深く、便利に学習していくツールとしてIT機器を活用していくものです。

さらにICTは多忙な教育現場の先生方に、効率化・省力化をもたらし、子どもたちと向きあう時間を確保する有効な方途でもあります。

こうした先進的なICT教育を、一過性の現象としてしまうのではなく、学校教育をより活性化し、子どもたちが大きく伸びていくために、さらに発展していくことを願っています。



さらにICTは多忙な教育現場の先生方に、効率化・省力化をもたらし、子どもたちと向きあう時間を確保する有効な方途でもあります。

平成21年度 全国学力学習状況調査 質問紙調査の結果より

前号で「学力」について掲載しましたが、今回は、「生活環境や学習環境等に関する質問紙調査」についてお知らせします。

この調査の質問項目は、全部で77ありました。その中で、特に児童・生徒の生活や学習環境にかかわるいくつかの質問に対する回答を表にいたしました。

基本的な生活習慣については、本市の児童・生徒は概ね国や都を上回っていますが、自己有用感を育み、豊かな心の育成を図っていくことにやや課題があるように思われます。

この調査の結果を受け止め、家庭や地域の協力を得ながら、今後の教育活動を進めてまいります。

質問項目	小学校6年生			中学校3年生		
	日野市	東京都	全国	日野市	東京都	全国
朝食を毎日食べていますか。	91.0	89.1	88.5	84.8	81.3	82.2
学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか。	67.5	64.0	65.6	71.0	67.3	65.3
読書は好きですか	47.1	48.0	46.4	40.9	40.7	42.1
将来の夢や目標を持っていますか。	69.9	69.8	70.0	44.7	44.5	43.7
家の人と学校での出来事について話をしていますか。	42.4	41.4	40.5	29.0	27.8	27.7
今住んでいる地域の行事に参加していますか。	25.5	21.1	32.8	8.4	8.4	12.6
学校の規則を守っていますか。	35.2	31.7	35.7	47.3	44.6	44.5
人が困っているときは、進んで助けていますか。	26.8	25.7	25.4	19.7	18.8	18.1
近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	62.2	61.5	62.8	50.2	53.0	51.2
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。	72.7	71.5	76.6	58.6	57.8	61.9
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	67.4	65.3	67.6	58.7	58.1	61.5

「している」「あてはまる」と回答した児童・生徒の割合

「日野食育かるた」が出来ました

日野食育かるたは、市内の小中学校の児童・生徒が、絵札・読み札を考え作品にしたもの。日野市の特色が描かれた発想のユニークな作品ばかりです。

11月15日(日)に表彰式を



行い、優秀賞3人(市長賞・教育委員長賞・特別賞)と学年賞9人に表彰状が贈られました。



優秀賞と学年賞の受賞作品12点については、本紙4面に紹介しています。食育カルタは、市内の幼稚園や小中学校だけでなく、保育園、児童館、「ひのこ」などにも置いてありますので、皆さんで楽しんでください。

【原画展示会】
食育カルタの原画を展示します。併せて、各学校の食育の取り組みについても紹介いたしますので、是非、ご覧ください。

▽日時 1月16日(土) 30日(土)

※期間内の日曜日は除く

▽場所 市役所1階市民ロビー

【有償頒布】
食育カルタを、1月12日(火)より、市政図書室で有償頒布(500円)いたします。ご家庭でもお楽しみください。

(学校課)

スクールガードボランティア講習会

日野市では、子どもたちの登下校時の安全確保のため、地域の皆様に通学路の見守り等のご協力をいただき、スクールガードボランティアを実施しています。

この度、スクールガードボランティアの方や、自主的にパトロール等のご協力をいただいている市民の方々を対象に、防犯の専門家による講習会を開催します。

今回の講習会は「犯罪機会論」の提唱者であり、テレビ番組や犯罪現場でご活躍されている立正大学の小宮教授を講師にお招きしています。

・犯罪は人ではなく場所(機会)で起こる
 ・犯罪をなくすためには犯罪の機会をなくせば良い
 ・ではどういった場所が危険な場所なのか
 などについて分かりやすく講演していただき、犯罪者を寄せ付けないまちづくりの方法を具体的に学んでいただきます。

また、後半は、日頃より活動されている方々から活動状況の発表を行っていただく予定です。またスクールガードボランティア



昨年度の講習会の様子

アにご登録されていない方もぜひご参加ください。
 多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時

平成22年2月27日(土)
 午前9時30分～12時00分

会場

新町交流センター ホール

講師

立正大学教授 小宮 信夫氏

講演テーマ

「子どもと地域の安全をどう守るか ―機会なければ犯罪なし―」

お申込み

【方法】電話で教育委員会庶務課にお申込みください。

【定員】140名(先着順)

【受付開始日】2月1日(月)

(席に余裕がある場合は当日の参加も可能です。)

お申込み・お問い合わせ先

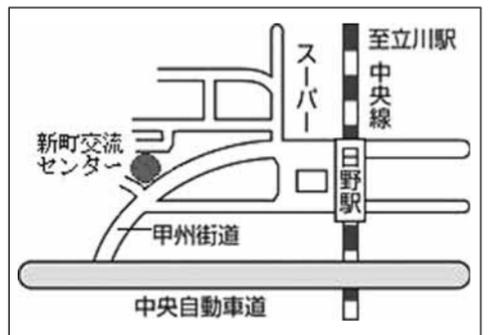
日野市教育委員会 庶務課
 ☎585-1111
 (内線5111・5112)

「スクールガードボランティア」になりませんか

子どもたちを地域ぐるみで見守る「スクールガードボランティア」を募集しています。子どもの登下校に付き添っていたり、買い物や散歩の際に通学路のパトロールをしていただく、また、登下校時に家の前に立っていたり、など、場所や曜日・時間、方法などではできる範囲で結構



登録は小学校区ごとになっています。ご関心のある方は、お近くの小学校にご連絡ください。
 (庶務課・学校課)



※駐車場が非常に少ないため、公共交通機関でお越しください。
 (庶務課)

日野市立教育センター「調査・研究の発表会」に参加を

教育センターでは、日野市の教育の当面する四つの課題について調査・研究を行っています。
 ・不登校児童・生徒の学習支援の研究
 ・「在宅」並びに「適応指導(わかば)教室」でのeラーニングの開発
 ・ICTを活用した教育の開発
 ・理科教育推進(授業の支援と支援センター・支援員など)

研究
 ・郷土(ひの)教育の推進(郷土教材の開発と活用、普及)
 研究その発表会を開催します。
 ▽日時 2月23日(火)
 午後2時30分～4時30分
 ▽会場 市立教育センター講堂(程久保550)
 ▽問合せ先 市立教育センター(☎592-0505)

授業の中で制作した絵画、彫刻粘土等の作品を展示します。
 『書初め展』
 ▽日時 1月16日(土)・17日(日)
 午前9時30分～午後4時
 ※17日は午後3時30分まで
 ▽会場 市民会館・展示室
 ▽問い合わせ先 滝合小(福島 ☎583-5172)

ます。
 ▽日時 1月28日(木) 午後1時～午後4時30分、29日(金) 午前9時15分～午後4時30分、30日(土) 午前9時15分～午後3時30分
 ▽会場 市民会館・展示室
 ▽問い合わせ先 日野二小(加藤 ☎581-0070) (学校課)

日野市公立小・中学校 『美術展』
 市立の中学校生徒が、美術の

日野市公立小学校 『図画工作展』
 市内の小学校児童が図画工作の時間に制作した作品を展示し

市内の小中学校で取り組んできました「独立行政法人科学技術振興機構」との共同研究である「実験・観察融合型デジタル教材活用共同研究」の発表会が開かれます。

会場校の日野第七小学校では、今年度の日野市教育委員会研究課題校として「科学的に考える子を育てる指導のあり方」を主題に当日研究発表会が行われますので、同時開催となります。

理科教育のさらなる推進に向けて デジタル教材活用研究発表会を開催

その成果の一端を当日の授業や発表会でお知らせいたします。

子供たちの「理科離れ」や理科教育の危機が唱えられている中、こうした取り組みの意義は大きいものがあります。教師の工夫とあわせ、理科室での実験では難しい、先端的な実験の様子をICT機器の活用を図りながら子供たちに示すことにより、子供たちの理科への関心や学ぶ意欲を高める効果をあげてきています。

多くの皆様に参加していただき、日野市における理科教育への理解を深めていただきますようお願いいたします。
 ▽日時 1月29日(金) 午後1時15分～
 ▽会場 日野第七小学校(神明3-8) (学校課)



日野第三小学校

平成21年12月5日(土)、七生公会堂において大会が行われました。この大会は、次代を担

児童・生徒による「フシセンター」シンポジウム大会の開催(報告)

子供たちのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成することがねらいです。当日はあいにくの雨にもかかわらず、公会堂が満席になるほどの参加者を得て、盛大に開催することができました。小学校10校、中学校3校が参加をしました。テーマも、「ふるさと日野」「環境」「本の紹介」「理科



日野第二中学校

しました。今回が第一回目ではありましたが、どの発表も大変素晴らしいものでした。(学校課)

第47回 日野市民体育大会 優勝チーム決る!!

軟式野球・サッカー

第47回日野市民体育大会では、昨年の夏から秋にかけて、「ひのっ子」たちによる熱いプレーが展開されました。ここでは軟式野球とサッカーの優勝チームをご紹介します。

【軟式野球競技】

▽小学生の部

👑イースタン・ルーキーズ

日野第八小学校のグラウンドで練習しています。日野第八小学校と七生緑小学校の子どもたちを中心とした1年生から6年生まで約50名で構成されています。

▽中学生の部

👑日野ロイヤルA

日野第二中学校と日野第四中学校の生徒で構成される創部33年の歴史あるチームです。市民大会での優勝は8年ぶりです。

【サッカー競技】

▽二年生以下の部

👑日野市三沢中学校A

試合を多く経験させることを心掛けています。このため日頃

👑旭SC2年

旭が丘小学校の子供たちを中心にしたチームです。「地域児童の健全な育成をはかるう」をモットーに、明るく楽しいサッカーを実践しています。

▽四年生以下の部

👑潤徳ガルーダF.C.タリアス

潤徳小学校の子供たちを中心としたチームです。週2回潤徳小学校の校庭で練習し、部員は全学年で81人です。

▽六年生以下の部

👑豊田FC

豊田地区を中心とした子供たちのチームです。楽しいサッカーを通して人間形成のサポートとどんなことにもチャレンジする姿勢を育んでいます。

▽中学校の部

👑日野市三沢中学校A

試合を多く経験させることを心掛けています。このため日頃

から試合のどの部分につながるかを考えて練習しています。

▽少女の部

👑樺スポーツクラブ女子サッカー部

1984年創設の女子サッカークラブで、ホームグラウンドの日野第二小学校のケヤキをシンボルにしています。部員は小学一年生から六年生で、22人です。

【文化スポーツ課】



樺スポーツクラブ女子サッカー部

子ども体験事業 科学コース「土曜日の理科室」中学生編

文化スポーツ課では、「子ども居場所」づくりを目的とした子ども体験事業科学コース「土曜日の理科室」事業を実施しています。

「ひのっ子」たちの好奇心や想像力を培い、異学年や他の学校の子どもたちと創る学びの仲間作りも応援しています。現在、市内の小学校5・6年生を対象に、いくつかのプログラムをコースで組み立てて行っています。(平成21年度募

集は終了しています。)

ここ数年に参加した子どもたちのアンケートで、中学生を対象にした講座を開催してほしいという声が寄せられており、平成19年度より、子ども体験事業「科学コース「土曜日の理科室」中学生編」を実施しています。

平成21年度につきましても、2～3月に開催予定となっております。詳しくは、ひの広報で募集をします。

▽子ども体験事業

『科学コース「土曜日の理科室」中学生編』

▽対象 中学校1～3年生

▽時期 平成22年2月～3月

(2回～3回) ※予定

▽応募方法 『ひの広報』参照

▽お問合せ 5855-1111 文化スポーツ課

小学校の時は理科が好きだった、もつといろいろなことを体験したい、理科は嫌いだったけどおもしろそう…。科学コースでは、中学生になった皆さんの好奇心を待っています。

『科学コース「土曜日の理科室」中学生編』

『科学コース「土曜日の理科室」中学生編』

▽対象 中学校1～3年生

▽時期 平成22年2月～3月

(2回～3回) ※予定

▽応募方法 『ひの広報』参照

▽お問合せ 5855-1111 文化スポーツ課

日野の暮らしを伝える 郷土資料館

企画展示

「暮らしの道具今・昔 新収蔵品展」

4月4日まで開催中

人々は火を用いて暖める、調理する、明るくする、といった道具を日々の生活の中で使っていました。現在の便利な道具とは異なりませんが、それぞれ様々な工夫が見られます。道具からかつての人々の暮らしを考えてみませんか。

展示しているのは、行火や湯たんぼ、鍋や釜、行灯や火鉢など。古いものでは江戸時代の燭台もありますが、昭和初期に使われていた道具が中心です。また、軍隊手帳や奉公袋といった戦地に行った人が使った物や書類、裁縫道具・櫛などの髪飾り・買物籠など女性が使う道具、市役所で保管していた写真など、新収蔵資料を中心に紹介するコーナーもあります。

本物をじっくり見る

釜の底には煤がついています。蓋もこげています。使い込んだ跡があります。どんな匂いがするのか、質感はどうかな、いろんな角度から見ることもできます。きつと本やテレビとは違った発見があることでしょう。

道具から「人」を考える

これらの道具は長い間、人々の暮らし



展示風景

日野市の 文化財紹介

新春 企画

富士塚

昔から初夢は「富士、二鷹、三なすび」と言われて、正月と富士山はゆかりがあるようです。そこで今回は、日野市にある富士塚をご紹介します。

この塚はコニカミノルタの構内にあります。大きさは南北25・5m、東西15・5m、高さ4m。黒い土を叩き締めた大きな塚です。

富士塚と呼ばれる塚は各地にあります。その大半は江戸時代後期以降に富士講の人々によって築造されました。富士講とは富士山を信仰して参拝する講組織で、江戸時代に数多く組織されました。富士塚は富士山に参拝できない人でも「富士詣」ができるようにしたミニチュアの富士山です。

しかし、日野市内の富士塚は、戦国期の永禄年間に筆写された「高幡高麗一族屋敷・下地等絵図」に記されていることから、16世紀半ばにはすでにあったと推測されます。また、他地域の富士塚で見られるクロボク(富士山の溶岩)など、富士講に係した遺物がないことから、富士講による築造ではないと考えられます。

塚の性格としては、まず中世期の富士山信仰との関連が考えられます。また、この富士塚は大久保の谷筋の延長上にあり目立つため、一帯の土地の境界を示す「境塚」であったとも推測できます。さきの絵図にある「ひのさかの台より富士つかの

わきまで前代あらいかたに候」

という記述は、「富士つか」(富士塚)と「ひのさかの台」(日野坂の台)が、「あらいかた」(新井方)の地域を示す目標になっていたことを示唆しています。

この塚を誰が作ったのかは、明らかではありません。しかし、参考例として注目されるのは、日野自動車の構内にある上人塚です。この上人塚も、富士塚と同様に黒い土を叩き締めて作ったもので、基部は20m四方の四角形です。

黒い土だけを選んで大きな塚を作るには、大変な労力が必要です。このような塚が日野台地の上に複数作られた背景には、例えば、当時この地を支配していた後北条氏のような、強大な権力の関与があったのかもかもしれません。

また、用水を開削するなど日野の発展の礎を築いた佐藤隼人は、16世紀半ばに美濃から日野に移り活躍しています。富士塚の築造にこうした人物がかかわっていた可能性も、無いとは言えません。

一つの文化財からは様々な仮説が生れます。富士塚がどのような塚なのかを探るのは今後の課題ですが、今回は初夢の富士山にかけて、富士塚を通して見えてくる夢(仮説)を紹介いたしました。(文化スポーツ課)



富士塚

ひのっ子が活躍しています

日野第四小学校



戸塚真利菜さん



里吉うたのさん



宮本桃子さん

○東京都水道局「小学校下水道研究レポートコンクール・新聞部門」で、社会科見学で訪れた水再生センターの下水処理の様子をレポーターのキャラクターを使ってわかりやすく新聞にまとめた、4年生の戸塚真利菜さん

んが入選しました。

○「東京都歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」で、歯磨きを呼びかけたポスターを描いた3年生の里吉うたのさんが佳作を受賞しました。

○「社会を明るくする運動作文コンテスト」で、老人ホームにボランティアに行ったときのことを書いた3年生の宮本桃子さんが、東京保護観察所長賞を受賞しました。

日野第五小学校



志賀智寛くん

社団法人「小さな親切」運動本部主催、内閣府・文部科学省後援による第34回「小さな親切」作文コンクールにおいて、4年生の志賀智寛君が、小学生の部で見事入選しました。

志賀君は電車で出会った目が不自由な方との触れ合いを通して、親切にすることの大切さを作文に書きました。

滝合小学校

滝合小学校金管バンド部が日野第四中学校と合同で演奏会を開きました。

市内の小中学校ではめずらしい部活動方式の金管バンド部が、今年の学芸会でデビューを果たしました。当日は、四中の吹奏楽団も応援に駆けつけてくれて、合同の演奏会になりました。

まだまだ、内容的には改善しなければなりません。参観された保護者の皆様方から大好評でした。



校です。決勝戦ではみんなの力が一つにまとまり、勝つことができました。来年春の全国大会出場も決まり、チーム一丸となって頑張ります。

(2年・木ノ内優樹君)

全国大会に出場して

平山中学校3年・杉本瑞季さんが、ハンドボールJOC東京代表として関東大会に出場しました。

「私は、中学校からハンドボール部に入りました。私達の学年は、大きな大会に出られなかつ



杉本瑞季さん

たけれど、私は、JOC東京代表として、関東大会に出場しました。関東大会では、男女ともに第3位で全国大会に出場ができることになりました。私達東京選抜は、優勝できるように、日々練習しています。東京選抜が、全国大会で活躍できるように応援してください。」

「日野食育かるた」作品コンテスト入賞作品紹介

学年賞



ち

茶わんむし
お祝いの日の
晩ご飯

滝合小学校3年
中野春香

学年賞



お

おむすびは
日本の心
和の心

日野第二小学校2年
平野紗良

学年賞



あ

青のりポテト
おいしいな
いつもおいしい
給食ありがとう

旭が丘小学校1年
菊池友香

特別賞



ひ

日野の梨
新選組も
食べたかな

南平小学校6年
柴田日和

教育委員長賞



に

人間は
太陽の恵みを
食べている

七生中学校1年
小関桃子

市長賞



つ

つぶつぶいっぱい
甘くておいしい
とうもろこし

日野第一小学校1年
平野優菜

学年賞



ね

ねばねば納豆
栄養豊富が
自慢だもん
におったって
いいじゃない

日野第四中学校3年
安田美里

学年賞



そ

育ち盛り
朝食抜くと
力がでない

日野第二中学校2年
清水葵

学年賞



ま

毎日運動
三度の食事
そして睡眠

日野第一中学校1年
押切美月希

学年賞



く

苦労して
みんなで作った
平山おかぼ

平山小学校6年
下遠野晴奈

学年賞



り

リコピンたっぷり
日野トマト
食べると元気が
でてくるよ

南平小学校5年
泉結衣子

学年賞



こ

この野菜
あのおじさんの
自信作

潤徳小学校4年
沼田凜丸